



＜サツマイモ作り＞ 5月に1年生から6年生まで、76人全員でサツマイモの苗の植え付けをしました。事前の準備として6年生が畑の畝作りを行い、黒マルチをかけました。風がなく、マルチがあおられることがなかったのでスムーズに作業を行うことができました。雑草に負けないように、苗がしっかり育ってくれることを願いながら丁寧にやることができました。水やりや草取りなど世話をするのは大変でしたが、秋にはたくさん収穫でき、みんな大喜びでした。



＜稲刈り＞ 5・6年生は「米作り」を行っています。今年も順調に生育し、たくさん米を収穫することができました。農業科支援員さんから、刈った稲を使って稲束を結ぶやり方を教えてもらいました。稲をひねるところや、稲束の隙間に結ぶための稲をねじこむところが難しく、束がばらけてしまうこともありました。ひもや縄を使わずに、自分たちが育てた稲を使って縛る昔の人の知恵や技に改めて感心していました。エコの考えにつながっていることも学びました。



＜いも掘り＞ 5月に植えたサツマイモの収穫です。品種は「ベニアズマ」、「ことぶき」の2種類です。農業科支援員さんのアドバイスで今年は「ことぶき」も植えました。今年もたくさんのサツマイモを収穫することができました。子どもたちは家族と穫れたてのイモを味わいながら楽しい食卓を囲むことができたようです。「ことぶき」はしっとりとした食感のサツマイモでした。ホクホク感のある「ベニアズマ」とは違ったおいしさでした。



＜収穫祭＞ 今年も「収穫祭」で収穫の喜びを味わうことができました。5・6年生が育てた新米、5年生が育てたニンジン、6年生が育てたジャガイモで「カレーライス」を作って農業科支援員さんや駒形地区の見守り隊の方々、学校評議員の方々にも食べていただき、喜んでもらえました。収穫までに行った農作業は、つらかったり、難しかったりで大変でしたが、米も野菜も一級品の格別に美味しいカレーをみんなで味わうことができました。来年度の収穫祭も楽しみです。